

種目【保健体育】調査研究資料

調査項目	着眼点	調査の方法
1 基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育むこと	(1) 基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させる、学年内及び学年間の系統性・発展性	・保健分野の技能・実習について、どのような構成の特徴があるか。
	(2) 思考力、判断力、表現力等を育む、言語活動や問題解決的な学習、体験的な学習	・習得した知識及び技能を活用してより深く考えられるような特徴があるか。
2 主体的に学習に取り組む態度を養い、個性を生かし多様な人々との協働を促すとともに、生徒の学習習慣が確立するよう配慮すること	(1) 学習意欲を喚起したり、学習の意義を社会や生活との関わりの中で実感したりすることができる題材や素材、資料等	・自他の生活にあてはめて考えることができるような工夫に特徴があるか。
	(2) 家庭で、課題の解決に向けて、自分で考え、自分で学習を進めることができる内容や構成	・家庭における知識の理解度を高める工夫に特徴はあるか。 ・家庭で実践できる工夫に特徴はあるか。
3 学習指導要領に示された各教科の配慮事項にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・体育分野と保健分野で示された内容については、相互の関連が図られるよう留意すること。 ・体力や技能の程度、性別や障がいの有無等に関わらず、運動の多様な楽しみ方を共有することができるよう留意すること。 	
4 印刷・製本等にかかわること	(1) 教科書の重量やページ数	・教科書のページ数、厚み、重量はどのようなようであるか。
	(2) 文字の大きさ、字間、書体、行間、図版等	・図表や写真等が取り上げられている分量、文字の配慮はどのようなようであるか。
	(3) 上記以外の使用上の便宜	・教科書の大きさはどのようなようであるか。

調査項目・着眼点の根拠

■ 中学校学習指導要領
(平成 29 年告示)

第 1 章 総則 第 1 2

(1) 基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育むとともに、主体的に学習に取り組む態度を養い、個性を生かし多様な人々との協働を促す教育の充実に努めること。その際、生徒の発達の段階を考慮して、生徒の言語活動など、学習の基盤をつくる活動を充実するとともに、家庭との連携を図りながら、生徒の学習習慣が確立するよう配慮すること。

■ 岐阜県教育振興基本計画 (2019 年 3 月)

基本方針 3

目標 11 「これからの時代に求められる資質・能力」の育成